

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	倉澤康一郎教授略歴；倉澤康一郎教授主要業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1997
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.70, No.1 (1997. 1) ,p.347- 362
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	倉澤康一郎教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19970128-0347

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

倉澤康一郎教授 略歴

昭和七年二月九日	山梨県南都留郡河口湖町にて出生	昭和四四年 四月	帰朝
昭和二八年 三月	東京都立立川高等学校卒業	昭和四七年 四月	慶應義塾大学法学部教授
昭和二九年 四月	慶應義塾大学法学部法律学科入学	昭和五一年一〇月	法務省法制審議会商法部会委員（現在に至る）
昭和三三年 三月	同卒業	昭和五一年一月	「保険契約の法理」により法学博士（慶應義塾大学）を受ける
昭和三三年 四月	慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程入学	昭和五三年 四月	公認会計士第二次試験委員
昭和三五年 三月	手塚豊教授の下で日本法制史を研究同修了、修士論文「明治初期不法行為法制の一考察」	昭和五四年 四月	早稲田大学法学部講師、同大学院院法学研究科講師（現在に至る）
昭和三五年 四月	慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程入学	昭和六一年一〇月	慶應義塾大学教職課程センター所長
昭和三六年 四月	慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程入学、法学部副手、島谷英郎教授の下で商法の研究を開始	昭和六三年 四月	大蔵省企業会計審議会委員
昭和三八年 三月	慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了	平成 三年一〇月	慶應義塾図書館長
昭和三八年 四月	慶應義塾大学法学部助手	平成 四年 一月	通産省産業構造審議会臨時委員
昭和三八年 四月	慶應義塾大学法学部専任講師	平成 五年一〇月	慶應義塾大学法学部長、大学院法学研究科委員長
昭和四二年 四月	慶應義塾大学法学部助教	平成 六年 一月	大蔵省保険審議会委員、司法試験第二次試験考査委員（いずれも現在に至る）
昭和四三年 一月	フランス留学		現在、日本私法学会理事、日本保険学会理事、日本海法学会理事

倉澤康一郎教授 主要業績

一 著書

昭和四六年

香港の会社法 (経済協力調査資料一三号)

アジア経済研究所

保険法六講

損害保険事業研究所

昭和五〇年

保険契約の法理

慶應通信(I)

昭和五三年

保険契約法の現代的課題

成文堂(II)

昭和五四年

会社法の論理

中央経済社(III)

昭和五六年

手形法の判例と論理

成文堂(III)

昭和五七年

保険法通論

三嶺書房

昭和六〇年

現代保険法論

一粒社

イラスト六法保険と年金

暁教育図書

商法の基礎

税務経理協会

昭和六一年

ブレップ法と法学

弘文堂

昭和六三年

会社判例の基礎——リーディング・ケースによる

会社法入門

日本評論社

平成二年

手形判例の基礎——リーディング・ケースによる

手形法入門

日本評論社

損害保険事業の発展と保険法

(安田火災記念財団叢書三三三号)

平成三年

商法の基礎 (新版)

税務経理協会

煉瓦の塔から

三嶺書房

平成五年

商法の基礎 (三訂版)

税務経理協会

平成六年

会社法改正の論理

成文堂(V)

二 編著・共著書

昭和四二年

法学新講（慶應義塾大学法学教育研究会編）慶應通信

昭和四六年

F・ノイマン政治権力と人間の自由（共訳）

河出書房新社

昭和五〇年・五一年

新種・自動車保険講座 I～IV

（金澤理・西島梅治の各氏と共編著） 日本評論社

昭和五二年

手形・小切手の法律入門（田村諄之輔・前田重行・

大塚龍児の各氏と共著） 有斐閣

昭和五三年

注釈手形法・小切手法（有斐閣新書）（斎藤武・

田邊光政・木内宜彦の各氏と共著） 有斐閣

昭和五四年

シンポジウム手形・小切手法（木内宜彦・庄子良男・

高窪利一・田邊光政の各氏と共著） 青林書院新社

昭和五六年

考える手形・小切手法（岩崎稜・田邊光政・奥島孝康・

木内宜彦・川村正幸の各氏と共著） 弘文堂

保険（生活の法律相談シリーズ）（編著） 法学書院

昭和五七年

口語商法（全訂版）（共同監著） 自由国民社

昭和五八年

考える会社法（岩崎稜・奥島孝康・渋谷光子・新山雄三・

木内宜彦の各氏と共著） 弘文堂

昭和六〇年

分析と展開商法II（手形・小切手法）（岩崎稜・田邊

光政・奥島孝康・木内宜彦・庄子良男の各氏と共

著） 弘文堂

昭和六一年

手形法・小切手法一〇〇講（編著） 学陽書房

昭和六二年

分析と展開商法I（会社法）（岩崎稜・奥島孝康・

新山雄三・木内宜彦・森田章の各氏と共著） 弘

文堂

平成元年

保険（生活の法律相談シリーズ）（改訂版）（編著）

法学書院

平成三年

改正商法の解説・実務（大谷禎男・相澤哲・窪内義

- 正・松崎昇・藤野信雄氏と共著) 税務経理協会 昭和四七年
 演習商法 (手形小切手) 青林書院新社
 平成四年 基礎演習商法 (奥島孝康氏と共著) 有斐閣 保険・海商法 (青林全書) 青林書院新社
 鈴木辰紀教授還暦記念論文集・保険の現代的課題 昭和四八年
 法学演習講座 5 商法総則・商行為 法学書院
 (共編著) 成文堂
 平成五年 商法キーワード (奥島孝康氏と共編著) 有斐閣
 契約から見た近代社会の展開
 手形・小切手の法律入門 (新版) (田村諄之輔・前田 昭和二二二
 重行・大塚龍児の各氏と共著) 有斐閣 N・S・B 放送大学受験放送テキスト
 平成八年 判例ハンドブック (商法総則・会社法) 日本評論社 有斐閣
 岩崎稜教授追悼論文集・昭和商法学史 日本評論社
 会社法 (青林双書) (改訂版・昭和五七年、新版・
 (奥島孝康氏と共編著) 平成三年) 青林書院新社
 奥島孝康氏と共編著) 日本評論社
 昭和五五年 商法 (総則商行為) 講義 (青林講義シリーズ)
 平成九年 判例ハンドブック (商行為法・手形法) 日本評論社
 水害保険制度に関する研究 (II)
 (奥島孝康氏と共編著) 建設省・水害保険制度研究会
 三 分担執筆 テキストブック会社法 (酒巻俊雄・柿崎栄治・戸塚登・
 昭和四六年 堀口亘・田村諄之輔氏と共著) (第二版・昭和五七
 年、第三版・平成四年、第四版・平成七年) 有斐閣
 現代保険理論の問題点とその解明 慶應通信

- 昭和五六年
口語訳基本六法全書一九八二年
自由国民社
論点商法入門
同文館
昭和五七年
事業経営の法律知識五八年度
自由国民社
昭和五八年
新商法・計算書類規則企業会計原則の総合解説
中央経済社
社会科学への発想
三一書房
商法Ⅲ（手形小切手法）
法学書院
昭和五九年
演習商法（手形小切手）（改訂版）
青林書院新社
昭和六〇年
大小会社区分立法の問題点検討
ぎょうせい
演習商法（会社）下巻
青林書院
平成元年
論点会社法
同文館
平成四年
保険経営学
有斐閣
平成五年
損害保険概論
有斐閣
- 手形小切手法
青林書院
保険募集の取締に関する法律コンメンタール
安田火災記念財団
企業活動と紛争——基金設立記念講演集
財団法人事紛争処理研究基金
商品取引判例体系
商事法務研究会
四 論文等
（末尾の(I)~(V)は、当該論文を収録した論文集を示す）
昭和三八年
火災保険普通保険約款二条二項の意義について
法学研究三六巻七号(I)
有価証券運送保険の被保険利益
綜合法学六巻一〇号
昭和三九年
委付による保険金支払の損害填補性——株券郵送事
故損害をカバーするための保険契約の提唱を契機
として——
法学研究三七巻一〇号(I)
昭和四〇年
小橋一郎著「手形行為論」（書評）
法学研究三八巻二号

- 取締役の監視義務について 企業法研究一二一輯(III)
被保険利益の契約法的機能——讓渡担保権設定者の 企業法研究一六九輯(III)
被保険利益を契機として—— 法学研究三八卷九号(I)
未補充白地手形と時効の問題をめぐって 手形研究九九号(IV)
発起人の損害賠償責任について 法学研究三八卷一二号(III)
昭和四一年 株券の効力発生時期をめぐる判例と保険のあり方 商事法務研究三八七号(III)
手形の無因性と人的抗弁 手形研究一〇九号(IV)
昭和四二年 被保険利益と権利 保険学雑誌四三七号(I)
取締役の資格について——業務監査権限との関連に 企業法研究一四六輯(III)
おいて—— 法学研究四〇卷一一号(I)
保険代位について 保険学雑誌四三九号
昭和四三年 見せ金についての法律上の諸問題 I 判例タイムズ二一五号(III)
——商法上の考察——
会社役員の退職慰労金と商法二六九条 企業法研究一六九輯(III)
株式会社社の分割とフランス商事会社法 財政経済弘報一三三二・一三三三合併号
昭和四五年 射倅契約と条件の法理——損害保険契約法論のため 法学研究四三卷三号(I)
に—— 大森忠夫著「保険契約法の研究」(書評) 法学研究四三卷六号
手形の無因性と権利の濫用 三色旗二六六号
昭和四六年 リベリア会社法(Ⅰ)〜(Ⅵ)(翻訳) 海事産業研究所報五六号〜六一号
営利社団法人の意義 法学研究四四卷二号(III)
船名未詳保険と予定保険 損害保険研究三三卷三号(I)
オーブン・ポリシーによる保険契約 財政経済弘報一四三九号
昭和四七年 保険金債権の時効起算点について 保険学雑誌四五五号(I)
保険約款に対する司法的規制 保険学雑誌四五五号(I)

- 保険契約における保険者の出捐
 大森先生還暦記念論文集・商法・保険法の諸問題(I)
 予定保険契約の構造 民法三四号
 手形交付の欠缺 判例演習講座 商法II(IV)
 裏書以外の方法による手形の譲渡 法学研究四五卷一〇号(M)
 告知義務の法的根拠 生命保険文化研究所報二二号(I)
 昭和四八年
 パナマ株式会社法(I)～(VII)(翻訳)
 海事産業研究所報七九号～八五号
 小切手による保険料の支払 損害保険研究三五卷一号(I)
 船主責任制限制度の方向 財政経済弘報一五〇一号
 責任保険における被害者の直接請求権
 著しい損失報告 現代損害賠償法講座8 損害と保険(II)
 農協共済と相互保険の法的比較(I)～(III) 企業法研究二二七輯(III)
 取締役・監査役選任決議取消と既往関係の法的処理 全共連季報二四号・二五号・二六号
 昭和四九年改正商法における監査役の資格・選任・ 企業法研究二一九輯(III)
 解任 税経通信二八卷一三三号(III)
- 累積投票制度の改正 税経セミナー一八卷一四号(III)
 昭和四九年
 未登記商号権者の地位 法学セミナー増刊
 予定保険契約立法試論 セミナー法学全集6 商法I(総則・商行為)
 損害保険事業研究所創立四〇周年記念論集(I)
 告知義務 損害保険双書1 火災保険(II)
 子会社の調査拒否権 企業法研究二二九輯(III)
 死亡保険金の帰属 生命保険文化研究所報二七号(I)
 手形債務の民事保証と裏書 法学セミナー増刊
 セミナー法学全集9 商法III(手形・小切手)(IV)
 「見せ金」による株式払込 法学セミナー二三〇号
 昭和五〇年
 信用保険と保証保険 法学研究四八卷二号(II)
 中間配当の法的性格と会社役員の問題 企業法研究二二九輯(III)
 信用保険と保証保険
 鈴木竹雄先生古稀記念論文集・現代商法学の課題(上)
 過失による自動車事故と責任保険
 損害保険契約における保険価額の存在意義 損害保険研究三七卷二号(II)

法学教室八号(第二期)

信用保険契約の構造

保険学雑誌四七〇号

株式会社の社会的責任と取締役 企業法研究二四七輯(III)

昭和五一年

法学研究四九卷一号(II)

商法六六七条と自賠法一六条

危険著増の知・不知と代理権

損害保険研究三八卷一号(II)

信用生命保険契約の法的性質

生命保険文化研究所報三四号(II)

承諾前死亡と契約の成否——吉田明氏の論文を読ん

で——

損害保険研究二五二輯(III)

企業法研究二二二輯(III)

昭和三二年

葛城照三博士古稀記念・損害保険論集(II)

責任保険における被害者の法的地位と直接請求権

(講演) 自動車保険料率算定会企画室資料二二号

白地手形法論・管見

法学研究五〇巻一号(IV)

保険代位の対象物たる「残存物」

保険学雑誌四七六号(II)

株式の仮装払込の効力と関係者の責任

商法 I (判例と学説 5)

社債制度と株主・債権者保護 企業法研究二六四輯(III)

資本の単位としての株式と社員権の単位としての株式

式 企業法研究二六五輯(III)

商法判例の動き

昭和五一年度重要判例解説(ジュリスト増刊六四二号)

(※以後、昭和六〇年度を除き、平成五年度まで担当)

自動車の衝突事故と相殺——責任保険との関係——

ジュリスト増刊総台特集八号交通事故——実態と法理

損害・人保険および定額・物保険——保険契約分類

論の再検討—— 生命保険文化研究所報四一号

保険利益享受約款の効力について 法学研究五〇巻一二号

昭和五三年

相馬勝夫博士古稀記念論文集・現代保険法学の諸問題

損益相殺と保険代位

業務執行機関の権限と責任 企業法研究二八一輯(III)

管財人による取締役等に対する責任追及

金融・商事判例五五四号(III)

盗難保険について

法学研究五一巻一〇号

手形外の保証について

法学研究五一巻一一号(IV)

責任保険における被害者の直接請求権

- 昭和四四年
預手の法的性格と盗難者への支払いの免責関係
監査役の改善策と問題点
生命保険・傷害保険と被害者補償制度
- 昭和五五年
計算書類の確定権限と商法規定（並木和夫氏と共同執筆）
法律行為としての手形・小切手行為
- 昭和四〇年代における会社判例法
- 会社分割の問題点
責任保険金債務の履行期
- 田辺康平先生還暦記念論文集・保険法学の諸問題
企業結合・合併・分割の法制上の問題点
- ジュリスト増刊・商法の争点
- 企業会計三二巻七号
株式会社の計算・公開に関する改正試案について
産業経理四〇巻七号
複数監査役の職務分担と監査役会
月刊監査役一三八号
商法上の会社の種類と経営形態
税経セミナー二五巻一四号
- ジュリスト六九一号
改正試案による株主総会の運営
株主総会の決議の瑕疵
会社法目的
会計人コース一四巻一五号
- ジュリスト七三一号
改正試案と今後の課題
株式会社と私的自治
商品取引所法と委託者保護
法学セミナー増刊総合特集シリーズ14現代の企業
昭和五六年
会社法改正と監査役——改正要綱案をどう理解した
株主の権利行使に関する利益供与の禁止
らよいか——
月刊監査役一四二号
- ジュリスト七三二号
現行保険業法の問題点
商法改正要綱の問題点
会社の計算に関する改正要綱の概要
税経通信三六巻三号
保険学雑誌四九二号
税経セミナー二六巻五号
- Law School 一八号(W)
税経セミナー二五巻五号
税経通信三五巻五号
- 株主総会の運営
企業会計三三巻五号
法律のひろば三四巻四号(V)

- 手形所持人の形式的資格 法学研究五四卷五号(M)
商法・監査役特例法改正案の解説 税経セミナー二六卷八号
株式と資本 企業会計三三卷九号(V)
株式制度 税経セミナー二六卷一三号(V)
営業報告書に対する附属明細書 企業会計三三卷一一号(V)
取締役の責任解除規定廃止とその効果 商事法務九一九号(V)
会社の取締役等に対する損害賠償請求権の査定 金融・商事判例六二七号
手形債権の確定と原因債権の時効 手形研究三一九号
自賠償保険契約における被保険損害 法学研究五四卷一一号
取締役と取締役会 税経セミナー二六卷一六号(V)
企業行動と法 経済セミナー三二三号
法務省令への期待 産業経理四一卷一二号
書面投票制度の新設と委任状勧誘 代行リポート五九号(V)
昭和五七年 端株・単位未満株と株式担保 手形研究二六卷二号(V)
- 株主総会の運営 税経セミナー二七卷三号(V)
保険契約者貸付——その法的性質—— ジュリスト七六六号
附属明細書 企業会計三四卷六号(V)
券面額引上・単位株・端株 改正会社法の基本問題
利益供与の禁止 税経セミナー二七卷九号(V)
新商法における引当金の考え方 税経通信三七卷一一号(V)
株式単位引上げの意義と機能 民商法雑誌八六卷六号(V)
単位未満株式と端株 金融・商事判例六一号
火災保険の告知義務 新損害保険双書1火災保険
手形保証の方式と効力 手形研究三三四号
昭和五八年 保険法(のびゆく現代法——産業法シリーズ) 法と政策二一号
自動車責任保険における被害者の直接請求権の法的性質 道経研シリーズA-9 No.57-4
株主総会 隠れた保証裏書の効力/所持人の同一性と善意取得 改正会社法詳説
(講演) 受験新報三三卷五号
監査役の監査意見の表明と責任 税経通信三八卷六号(V)

- 端株制度 会社法演習Ⅰ総論・株式会社(設立・株式)
大浜信泉教授の手形法論(講演)
- 無額面株式の機能と一斉転換の問題点 早稲田法学五八巻二号
代行リポート六六号(V)
大小会社区分の意義 企業会計三五巻八号(V)
商法計算規定の理念と機能 産業経理四三巻三号(V)
責任保険における被害者の直接請求権
ジュリスト増刊・商法の争点(第二版)
大小会社の区分について 法律のひろば三六巻一―号
昭和五九年
- 商法ノ手形・小切手法(新法律学への招待)
法学セミナー増刊 法学入門(一九八四年)
被裏書人欄抹消の効果・無権代理人と善意支払
受験新報三四巻八号
(講演)
いわゆる「一元化」の意味
――商法から企業会計原則への提言――
企業会計三六巻一号(V)
中小会社監査と適法性証明 税経通信三九巻三号
自動車責任保険における被害者直接請求権の法的性質
法学研究五七巻六号
- 大小会社区分立法について 会計人コース一九巻一―号
監査役的地位と「監査役会」 月刊監査役一九六号(V)
「大小会社区分立法」の動向――各界意見の分析と
若干の私見―― 企業会計三六巻一二号(V)
A案の立場からみたB案、C案の問題点 税理二七巻一五号
保証保険・信用保険・ボンド 現代契約法大系第六巻
昭和六〇年
改正商法における株主の提案権・質問権 民事研修三三四号
小株主会社の外部「監査」問題 税経通信四〇巻二号(V)
企業取引 企業・現代社会・法
保険業法等の問題点について(講演)
社会経済の動向と簡易保険・郵便年金講演集VII
公的保障・私的保障の運営主体
生命保険文化センター・公的保障と
私的保障に関する研究会
小株主会社の外部「監査」問題/中小会社監査と適
法性証明 別冊税経通信五号・限定監査試論
額面株式と無額面株式

基本問題セミナー会社法(新版・平成三年)

監査機構 現代企業法講座第三卷企業運営

更生手続と取締役・監査役

金融・商事判例増刊七一九号

現行商法における「監査」の意義

産業経理四五巻二号(V)

小規模会社「監査」の方向 税経通信四〇巻一二号

生命保険といのちの値段 法学セミナー三〇巻一二号

昭和六一年

商法二二〇条の二、二三〇条の六

新版注釈会社法(4)株式(2)

最低資本金と大小会社区分立法 税経通信四一巻七号(V)

会社の公開規定

企業会計三八巻八号(V)

法学者の立場から会社法改正試案を考える

会計ジャーナル一八巻九号

いわゆる「積立型保険」について——意見書——

生命保険協会

優先株式・無記名株式

金融・商事判例七五五号(V)

株主総会のゆくえを握るもの——一九八六年版株主

総会白書を読んで—— 商事法務一〇九七号(V)

昭和六二年

株主総会の最高機関性と監査役 月刊監査役二三〇号(V)

最低資本金をめぐる問題点 税経セミナー三二巻五号(V)

商法二八〇条の四、二八〇条の五

新版注釈会社法(7)新株の発行

監査役の独立性と「自己監査」——最近の最高裁判

決を中心として—— 旬刊経理情報四八八号

監査役の業務監査と監査意見の表明

商事法務一一一三号(V)

企業会計原則の機能と商法

企業経営者の責任

企業会計三九巻九号(V)

——監督責任を中心として—— 予防時報一五一号

商法二八二条、二八四条

新版注釈会社法(8)株式会社の計算(1)

手形金額の記載における「文字」と「数字」

法学研究六〇巻一二号

昭和六三年

株主名簿の閲覧請求と正当目的 ジュリスト九〇一号(V)

有価証券の法的意義

法学セミナー別冊87

法学ガイド商法III(手形・小切手)

責任保険の機能と現状 食品衛生研究三八巻六号

商法学イン・パースペクティブ

法律時報六〇巻一一号
自動車傷害保険における事故の程度と因果関係
道経研シリーズA・31 No.63・2
会計調査人等会社法改正の諸問題と展望
金融先物取引所
昭和六四年・平成元年
商法における判例と学説
法学教室二〇〇号
保険監督法の問題——昭和六三年度日本保険学会シンポジウム・解題——
保険学雑誌五二四号
公的責任保険と私的責任保険——故意の事故招致をめぐって——
法曹時報四一卷三号
会計調査人制度の可能性
企業会計四一卷三号(V)
保険金受取人の変更
文研論集八七号
小会社における計算と公開
企業会計四一卷一〇号
第三者割当増資と株主の権利
旬刊経理情報五六六号
企業買収——その法文化と問題点——
法学セミナー四二〇号
顧問弁護士の監査役選任と就任
商事法務一二〇三号
平成二年
保険法からみた製造物責任の諸問題(上)(下)
NBL四四一号・四四二号
取締役・使用人の監査役選任
産業経理四九巻四号
人・商人・企業(講演)
専修法学論集五一号(『煉瓦の塔から』に収録)
会計士・監査人の法的責任
税経セミナー三五巻五号
商法等改正案要綱案の解説
税経通信四五巻四号
設立手続の合理化
税経通信四五巻六号
商法改正(案)と中小企業——最低資本金制度などについて——
中小企業金融公庫月報三七巻五号
株式・持分(改正商法の解説)
商事法務一二二二二号
今次商法の改正について(講演)
月刊監査役二七五号
手形法——その地位と特色——
法学教室一二二二号
平成三年
会社法の改正
法学教室一二四号
一人会社設立の法認の意義
企業会計四三巻五号
監査人に対する社会的期待とその責任
月刊監査役二九一号
監査基準の純化
企業会計四三巻八号
有価証券法重点ゼミ——倉澤先生に聞く——
受験新報四一卷九号
保険料領取前に生じた事故

金融・商事判例別冊三号 自動車保険の法律問題

平成四年

株式会社の不祥事と監査役・会計監査人の機能

商事法務一二七二号

解約返戻金請求権の法的性質と差押え

ほうむ(安田火災法務部) 三一号

会社の取締役等に対する損害賠償請求権の査定

金融・商事判例八八五号

公認会計士監査の社会的定着 企業会計四四卷三号

経営者責任——川治プリンスホテル火災の判決確定

に際して—— 予防時報一六九号

会計監査人監査の機能と新基準・準則

JICPAジャーナル四卷六号

監査役と取締役会(日本私法学会商法部会シンポジ

ウム資料)

商事法務一二九六号

搭乗者傷害保険金と損害賠償

鈴木辰紀教授還暦記念・保険の現代的課題

帳簿閲覧・謄写権の強化 税経通信四七卷一三号

意見書(生命保険協会保険法規専門委員会委員長宛)

平成五年

新株発行の差止原因と無効原因 法学教室一四八号

保険契約解約返戻金請求権の法的性質とその差押え

法学研究六六卷一号

手形債権の確定と原因債権の時効 手形研究四七五号

監査役制度改正の必要性 商事法務一三一一号

監査役制度強化の方向(講演) 月刊監査役三一二号

株式会社監査制度の現状と課題(シンポジウム)

私法五五号

商法等改正法律案要綱の解説 税経通信四八卷五号

生損保兼営問題への法的視点

三田商学研究三六卷一号

わが国の監査制度と今後の課題 信用金庫四七卷六号

日米構造協議と会社立法——日米の企業文化ギャップ——

法律時報六五卷七号

監査役制度の改正 企業会計四五卷六号

責任保険における被害者の直接請求権

ジュリスト増刊・商法の争点II

商法等改正法律案の実務対応(インタビュー)

企業会計四五卷七号

監査役制度改正の問題点 税経通信四八卷一一号

公開会社の自己株式取得規制緩和

ジュリスト一〇二九号

平成五年の商法改正に対応する監査役監査実務の

課題——そのギャップと問題点は何か（講演）

月刊監査研究一九卷一二号

改正商法とその対策——株主代表訴訟制度とその実

務上の対応——（講演） 三井海上火災保険

商法改正と監査機能の強化

税経セミナー三八卷一四号

平成六年

裏書の不連続

法学教室一六〇号

傷害保険契約の構造再考——高松高裁

平成二年九月二八日判決を契機として——

損害保険事業総合研究所・創立

六十周年記念損害保険論集

利益消却のための自己株式の取得

企業会計四六卷六号

利益による株式消却のための自己株取得と実務問題

税経通信四九卷七号

企業資本のリストラのために——平成六年商法改正

法案の概要—— フォト四一巻一四号

自己株式取得規制緩和と問題点

税経通信四九卷一二号

平成七年

期待される監査役監査の強化とは何か（シンポジ

ウム） 月刊監査研究二二卷四号

木内教授の手法法学——解題に代えて——（聞き手

・高田晴仁） 木内宜彦著・手形抗弁の理論・葉

「修正発行説」の意義と機能

田中誠二先生追悼論文集・

企業の社会的役割と商事法

平成八年

生命保険の意義と種類

金融・商事判例九八六号

法と人間——私の商法学——（講演）三色旗五七六号

持株会社解禁と商法 旬刊経理情報七八三号

「第三分野」の保険と新保険業法 法曹時報四八卷五号

会社役員賠償責任保険と免責条項

証券代行ニュース二五四号

会社合併の問題点

税経セミナー四一巻一一号

昭和二五年商法改正

——監査制度を中心として——

岩崎稜教授追悼論文集・昭和商法学史

法における近代と現代（講演） 三田教育会報一七号

以上のほか、法学研究、判例時報、判例タイムズ、金融・商事判例、ジュリスト各誌に一〇〇余編の判例評釈を執筆（慶應義塾大学商法研究会編著・下級審商事判例評釈（昭和三〇年―三九年）、同（昭和四〇年―四四年）、同（昭和四五年―四九年）、同（昭和五〇年―五四年）、同（昭和五五年―五九年）、および、(I)(II)(III)(IV)に収録）。また、解説、講演録、座談会記録、随筆など多数。